

4月末に調査した2006年5月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2006年5月の消費意欲は、先月から1.1ポイント増加し
54.5点でした。

5月の数値としては、6年ぶりの高数値を記録。

■ 「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

4月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者420名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの5月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「5月の消費意欲指数」です。

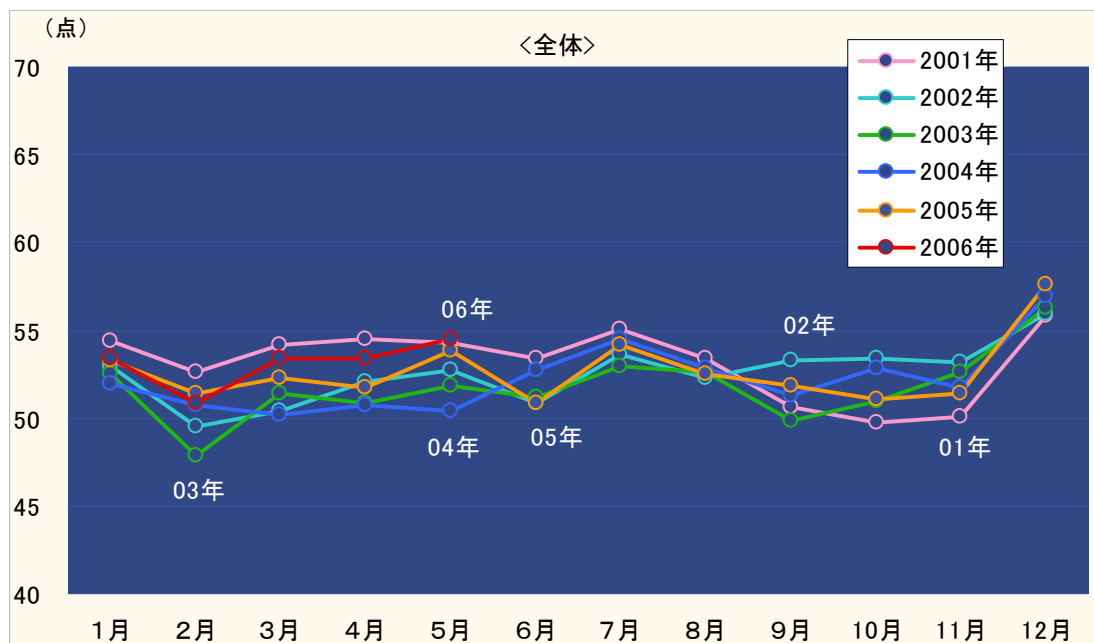
この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2006年5月の消費意欲指数は、先月から1.1ポイント増加し54.5点でした。

5月の消費意欲指数は、先月から1.1ポイント増の54.5点となりました。前年同月比でも0.7ポイントの増加となり、5月としては2001年以降で最高の数値となりました。消費意欲はここ3ヶ月連続で前年同月を上回っており、好調を維持しています。

景気回復によって、企業収益の拡大や雇用状況の改善などが続いており、個人消費にもプラスの影響が働いているようです。また、今年のゴールデンウィークは人もモノも大きく動いており、こうした世の中の活況が消費意欲にも反映されたと言えそうです。

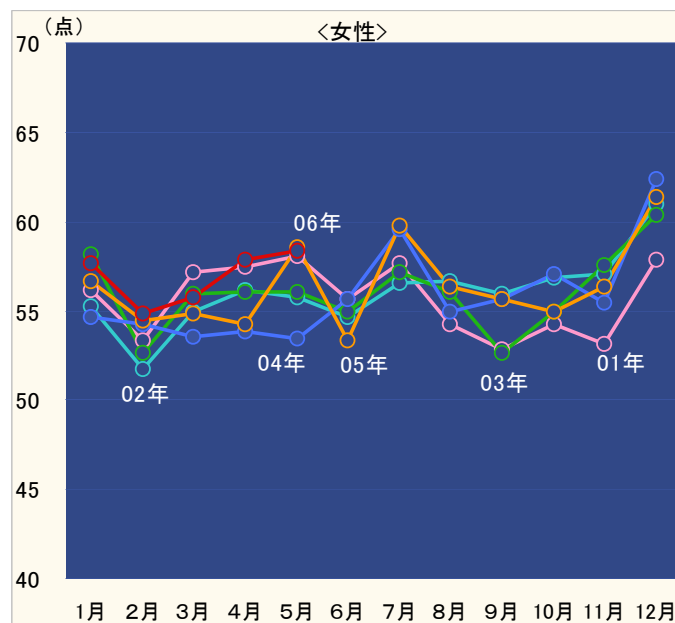
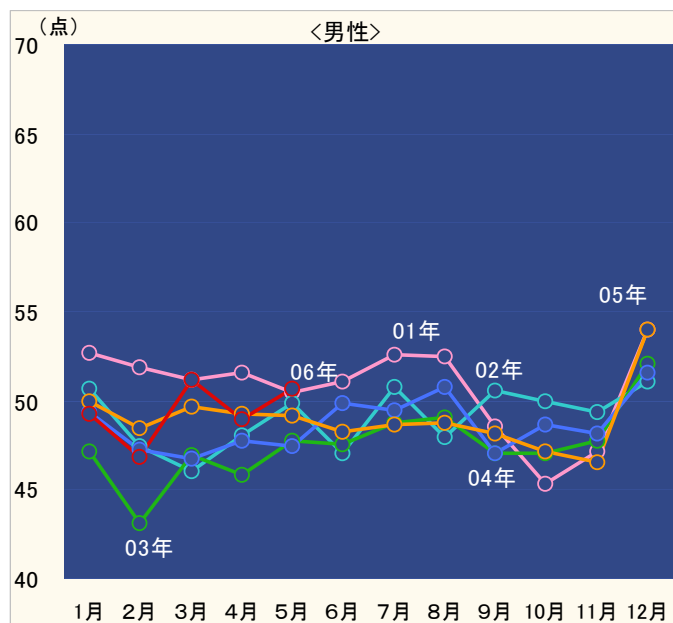
なお、今後の消費意欲のゆくえを占うため、例年は消費意欲が減少する来月（6月）の数値に注目したいところです。



■ 男性の消費意欲が50点超えとなり、5月としては2001年以降で最高値を記録。

5月の男女別の消費意欲指数は、先月比で男女とも増加し、男性が+1.7ポイントの50.7点、女性が+0.4ポイントの58.3点となりました。前年同月比では男性が+1.6ポイント、女性が-0.2ポイントとなり、男性の消費意欲の好調ぶりが目立ちます。

同時に調査している生活力点を見てみると、男女とも「買い物」については先月に続き平均的な数値ですが、「趣味・遊び」「余暇・レジャー」に力を入れたいという人は大幅に増加しています。夏に向けて行動型の消費意欲が高まっているようで、夏のボーナス消費にも期待が持てそうです。



※博報堂生活総合研究所のHP (www.athill.com) では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

【調査概要:HILL ネット調査】

調査地域:首都圏/ 調査対象者: 19~73才の男女個人420人/ 調査方法:郵送法

本件に関する詳細のお問い合わせは
博報堂生活総合研究所 (03-3233-6450) までお願いいたします。

